



明不登日法通西由日本
 有教者之始也其地也其家
 其文也其也其也其也其也

一此也其電報之具也其也
 通之者地也其也其也其也

其也其也其也其也其也其也
 其也其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也其也
 其也其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也其也
 其也其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也其也
 其也其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也其也
 其也其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也其也
 其也其也其也其也其也其也



如何シテ被害ノ耳ニ觸レテ
人心殺意ヲ倍ニ頻ニ混難ノ
物有之ヲ多ク知ヤ 既ニカキテ
案シテ支那長中山子當リ 亦
カ立其家ヲ靜心ニタシ民堂中
百般ノ疑惑ツ生レ均ニ不止
其動搖終ニ市街ニ破及シ
所ニ放火莫亦殺スルボノ流言
到リ一時家財百片存ノ物無
クテ拘捕リル物多ク有テ
捕留者中可々知リト古軍
日々増加シ兵燹振ラリテ
斯次陸路ス

余等ノ捕田民ヨリ 丹カキ
勢ニ付之レリ思ハス

一本京懐久打地家永昔カ
捕留ノ家止ニ此家女情ノ
思ラナセシヤ 正米依頼ノ情ヲ
既ニ本京家永ハ 旅寓
出大ニ徳久打地ニ示シ 集
テ希望ス此ノ五對 頻ニ妙
ヲ極ム加立ニ丹カキ 中
立者

如シテ一哭ニ先ニ世者
み可ク之ヲ 靜

ワ極ム加之ニ母の今泉ナル
中五部
ワリテ現時ノ景況山出ワ函ガ
如シ西一哭ヨリ先ニ世者
為可クヨクモシテ
静言

三月八日 伝札

大隈先生宛

頃者二月四日一書ヲ添アリ
既書トシテ支那ノ用リ以テ七時
に到リ波也ヨリ又既ニ電報
曰ク有士該撃ヲ暮カリ義兵
編シ右軍先鋒ヲ出スルノ
後アリ九ノ二千計モ右ニ勢
至急取洲ヨリ至ク依テ中地
外州報ヲ聞シヤ方ニ旅備
来リ意見見ツ聞フ其是陸軍
如何ニモ大形ヲ變ホセタルノ
事ナリ
士族募カ兵ノ敵害夕日
ナリ 朝庭取テは幕ヲ抑
且前野ノ人情物々反漢ノ
ミテ此舉ヲササシメハ倍々
勤惰ノ物儀拂曉前止能
ナルモノアラシ物申ハ
佐左支隊
モセヨ昔前幕ニモセヨ
ノ事ヲ勤ク加規ヒ
往來スル近傍

如何ニモ大形ヲ擊セザルノ甚ヤ

士族募カ兵ノ敵寇夕日明ク

ナリ 朝庭取テは幕ヲ抑テ

且前野ノ人情均ニ反激ノ如ク

シテ此舉ヲナサズニ倍々人心ヲ

動搖シ物議拂騰創止能ク

サルモノアラシ物中ハ佐々木等

ニセヨ昔前幕中ニセヨヨリ幕中者全族

ノ幕ヲ劾シ知規ニ致シ往來スル近傍

諸藩ノ平徒互薩ノ流言ヲ

輩シ之レ雷同シ然レ大害ヲ

引起ス賊ノ乱煙ヲ助ケ軍

ノ或ルシ幕中ニ至ルハ心取野

物止スルニ他事ナレ一体電報ノ

文意思ツ察セズニニ幕中ノ意ニ

出タルカ如何ニ如何ニ幕中ノ情

暗キヤ區々出立シテ論破スル

支那ヨリモ使者ヲ遣スルニ幕中

其ノ氣達ス幕中ノ上柳本氏

幕中ノ面々幕中ノ幕中ノ幕中

ノ幕中多クシテ或レ云レ又云レ

幕中ノ幕中ノ幕中ノ幕中ノ幕中

幕中ノ幕中ノ幕中ノ幕中ノ幕中

幕中ノ幕中ノ幕中ノ幕中ノ幕中